

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	オリエンテーション	国家試験概要の理解
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	島川 崇	2	オリエンテーション	国家試験概要の理解
科目名	旅行業法	時間数	34単位時間	3	旅行業法(目的・登録制度)①	業法 法令毎の対策
開講期間	前期	授業形態	オンライン授業	4	旅行業法(目的・登録制度)②	業法 法令毎の対策
使用テキスト名	ユーキャン 旅行業務取扱管理者速習レッスン(国内総合) 補強演習教材			5	旅行業法(営業保証金制度)①	業法 法令毎の対策
補助教材	パワーポイントスライド・PDF教材・ユーチューブ動画			6	旅行業法(営業保証金制度)②	業法 法令毎の対策
科目概要と科目到達目標				7	旅行業法(新制度の導入)	業法 法令毎の対策
旅行業を営むための条件や旅行者と取引するときの決まり事を定めた旅行業法について理解し 旅行業務取扱管理者試験資格の取得を目指す。				8	旅行業法(旅行業務取扱管理者)	業法 法令毎の対策
				9	旅行業法(旅行取引に関する諸規制)①	業法 法令毎の対策
				10	旅行業法(旅行取引に関する諸規制)②	業法 法令毎の対策
				11	旅行業法(旅程管理)①	業法 法令毎の対策
				12	旅行業法(旅程管理)②	業法 法令毎の対策
				13	旅行業法(禁止行為)①	業法 法令毎の対策
授業の進め方・学習方法・課題				14	旅行業法(禁止行為)②	業法 法令毎の対策
テキストを活用し、復習映像を活用し理解度をチェックしながら進める。 上記記載の授業数に加えて、夏季講習期間に一定時間の特別講義授業を実施する。 オンライン参加での卒業生受講も可とする。				15	旅行業法(業務改善命令)	業法 法令毎の対策
				16	旅行業法(代理業)	業法 法令毎の対策
				17	旅行業法(事業の廃止)①	業法 法令毎の対策
				18	旅行業法(事業の廃止)②	業法 法令毎の対策
				19	旅行業法(旅行業協会)	業法 法令毎の対策
				20	旅行業法(弁済業務)	業法 法令毎の対策
評価方法・成績評価基準				21	旅行業法 まとめテスト1-1	業法まとめ
①国家試験模試模試50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	旅行業法 まとめテスト1-2	業法まとめ
				23	旅行業法 まとめテスト1-2	業法まとめ
				24	旅行業法 まとめテスト1-3	業法まとめ
				25	旅行業法 まとめテスト1-3	業法まとめ
				26	旅行業法 まとめテスト1-4	業法まとめ
				27	旅行業法 まとめテスト1-4	業法まとめ
				28	旅行業法 まとめテスト1-5	業法まとめ
				29	旅行業法 まとめテスト1-5	業法まとめ
				30	旅行業法 まとめテスト1-6	業法まとめ
				31	旅行業法 まとめテスト1-6	業法まとめ
				実務経験教員の経歴		
航空会社、シンクタンク、大学等の幅広い実務経験を有しており、現在は当校をはじめ他大学など複数の学校で教務にあたる。				33	旅行業法 テスト振り返り1・補講1	弱点補強対策
				34	旅行業法 テスト振り返り2・補講2	弱点補強対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	募集型企画旅行契約 総則(用語の定義)	国家試験概要の理解
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	北村 裕美	2	募集型企画旅行契約 契約の締結・変更	募集型企画旅行の理解
科 目 名	旅行業約款	時間数	17単位時間	3	募集型企画旅行契約 契約の解除・団体グループ契約	募集型企画旅行の理解
開講期間	前期	授業形態	オンライン授業	4	募集型企画旅行契約 旅程管理・責任	募集型企画旅行の理解
使用テキスト名	JTB総研 旅行業約款/運送・宿泊約款 ユーキャン旅行業務取扱管理者速習レッスン			5	募集型企画旅行契約 営業保証金・弁済業務保証金	募集型企画旅行の理解
補助教材	パワーポイントスライド			6	受注型企画旅行契約 用語の定義・契約の締結	受注型企画旅行の理解
科目概要と科目到達目標 旅行に関する契約を締結する際の数々の約束事についてを理解し 旅行業務取扱管理者試験取得を目指す				7	受注型企画旅行契約 契約の変更・解除	受注型企画旅行の理解
				8	受注型企画旅行契約 団体グループ契約・旅程管理	受注型企画旅行の理解
授業の進め方・学習方法・課題 テキストとまとめプリントを使用し、旅行業約款の知識を深め、国家試験合格を目指す。 ひとつの項目の終了ごとにテストを行い、理解度を確認する。 上記記載の授業数に加えて、夏季講習期間に一定時間の特別講義授業を実施する。				9	受注型企画旅行契約 責任・営業・弁済保証金	受注型企画旅行の理解
				10	特別補償規定 補償金の支払い・種類・手続き	特別補償規定の理解
評価方法・成績評価基準 ①国家試験模試模試の試験 50%②授業への積極的参加20%③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				11	手配旅行契約 用語の定義・契約の成立	手配旅行契約の理解
				12	手配旅行契約 契約の変更及び解除・旅行代金	手配旅行契約の理解
実務経験教員の経歴 航空券の予約・発券・払戻・取消、受託手荷物等、カウンター業務、ゲート業務、出発・到着業務等、グランドスタッフとしての全ての業務にに係わる。また、教育インストラクター、接遇インストラクターとしても活躍。実務経験7年				13	手配旅行契約 団体、グループ手配・責任・補償金	手配旅行契約の理解
				14	旅行相談契約・渡航手続代行	その他旅行契約の理解
				15	国内旅客運送約款・バス・フェリー・宿泊約款	その他旅行契約の理解
				16	科目総合試験	実力テスト
				17	科目総合試験	実力テスト(振り返り)
				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	JR(用語の定義・会社路線図)	JR運賃計算の理解
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	澤野 仙吉	2	JR(乗車券類発売の概要)	JR運賃計算の理解
科目名	国内運賃料金	時間数	34単位時間	3	JR(運賃計算・乗車券の種類・運賃計算の特例)	JR運賃計算の理解
開講期間	前期	授業形態	対面授業	4	JR(料金計算・乗継割引)	JR運賃計算の理解
使用テキスト名	ユーキャン 旅行業務取扱管理者速習レッスン(国内総合) JR時刻表 補強演習教材			5	JR(新幹線)	JR運賃計算の理解
補助教材	JR時刻表(紙媒体)・ユーキャン演習教材(紙媒体)			6	JR(変更・払戻・遅延)	JR運賃計算の理解
科目概要と科目到達目標 JR運賃料金の計算方法や仕組みを体系的に学習・理解するとともに、時刻表を活用し実学で役立つ応用力を身に付ける。国内旅行業務取扱管理者試験の資格取得を目指す。				7	JR(回数券・団体乗車券)	JR運賃計算の理解
				8	JR(団体乗車券の変更・取り消し・払戻)	JR運賃計算の理解
授業の進め方・学習方法・課題 テキストを使用し例題を解き、運賃計算の問題に慣れ国家試験合格を目指す。 定期的に習熟度確認テストを行い、理解度を確認し弱点補強の学習につなげる。 上記記載の授業数に加えて、夏季講習期間に16時間前後の特別講義授業を実施する。 国家試験対策の時間も活用することもある。				9	JR(時刻表)	JR運賃計算の理解
				10	JR(特別企画乗車券)	JR運賃計算の理解
				11	航空(航空券・空港コード)	航空券の運賃の理解
				12	航空(予約・購入・有効期間・運賃の種類)	航空券の運賃の理解
				13	航空(運賃・料金・割引運賃・変更取消・払戻)	航空券の運賃の理解
				14	貸切バス(運賃・料金)	バスの運賃料金の理解
				15	フェリー(運賃・料金)	フェリーの運賃料金の理解
評価方法・成績評価基準 ①国家試験模試2回等の試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	宿泊(宿泊料金等・変更取消・払戻)	宿泊料金の理解
				17	テスト・振り返り	テスト
				18		
				19		
実務経験教員の経歴 旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で実務を経て現在に至る。				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	国内地理 導入(勉強法・基礎理解)	地理勉強方法、都道府県庁所在地の理解
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	矢後 達夫	2	国立公園・山岳	出題分野ごとの対策
科 目 名	国内観光資源	時間数	34単位時間	3	高原・湿原	出題分野ごとの対策
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	4	湖・池・沼	出題分野ごとの対策
使用テキスト名	JTB総研「国内観光資源」 サブノート(課題) ユーキャン観光資源			5	島・岬・半島	出題分野ごとの対策
補助教材	帝国書院「旅に出たくなる地図」(紙媒体)日本の絶景365日・			6	海岸・鍾乳洞・洞窟	出題分野ごとの対策
科目概要と科目到達目標 日本国内の観光資源(自然・温泉・祭事等)についての学習について理解を深め 旅行業務取扱管理者試験の資格取得を目指す				7	河川・溪流	出題分野ごとの対策
				8	渓谷・峡谷・谷	出題分野ごとの対策
授業の進め方・学習方法・課題 テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。 定期的にテストと補講を実施。 夏期講習の実施で過去問題を集中的に実施する。 映像を駆使した授業とする。				9	庭園・小京都	出題分野ごとの対策
				10	温泉(東日本)	出題分野ごとの対策
評価方法・成績評価基準 ①国家試験模試模試の試験40% ②地理検定30% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 国家試験と地理検定が不合格の場合は、上記評価によらず「F」評価とする 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				11	温泉(西日本)	出題分野ごとの対策
				12	祭り	出題分野ごとの対策
実務経験教員の経歴 旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験 や都内の観光系専門学校で教員実務を経て現在に至る。				13	寺社・仏閣	出題分野ごとの対策
				14	博物館・美術館	出題分野ごとの対策
				15	民謡・陶磁器・郷土料理	過去問題を使った実力テスト
				16	科目総合確認試験1・弱点確認1/補講1	実力テスト解説、まとめ
				17	科目総合確認試験2・弱点確認2/補講2	実力テスト解説、まとめ
				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	この授業の意義・目的について
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	2	運賃料金	通常授業の補完対策
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	矢後 達夫	3	運賃料金	通常授業の補完対策
科 目 名	国内国家資格対策	時間数	17単位時間	4	運賃料金	通常授業の補完対策
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	運賃料金	通常授業の補完対策
使用テキスト名	ユーキャン演習問題、国内観光地理サブノート			6	運賃料金	通常授業の補完対策
補助教材	PDF教材			7	運賃料金	通常授業の補完対策
				8	運賃料金	通常授業の補完対策
科目概要と科目到達目標				9	運賃料金	通常授業の補完対策
過去の国内旅行業務取扱管理者試験や地理検定・模試の問題に挑し、問題の傾向を掴む。 それぞれの問題を解き、一つ一つの問題に対する回答の説明をすることで、理解を深める。 国家試験をはじめ、地理検定や世界遺産検定への合格を目指す。 運賃料金の授業にも活用する。				10	運賃料金	通常授業の補完対策
				11	運賃料金	通常授業の補完対策
				12	運賃料金	通常授業の補完対策
				13	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				14	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
①昨年、2年前、3年前、4年前、5年前との順にさかのぼって問題に取り組む。 ②低回答率等から弱点や強化対策の項目を抽出し、その後の対策にあてる。 4～6月は運賃料金に特化した授業展開とする。				16	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				17	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				18	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				19	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				20	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
評価方法・成績評価基準				21	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
①国家試験模試2回等の試験50%②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 国家試験合格の判定も①に考慮する。 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している F=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				23	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				24	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				25	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				26	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				27	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				28	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				29	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				30	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				31	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
実務経験教員の経歴				32	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で教員実務を経て現在に至る。				33	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策
				34	過去問題	国内旅行業務取扱管理者試験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	世界遺産を学ぶ意義・目的について	観光資源の中の位置づけと試験対策概要				
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	若井 省三	2	世界遺産(国内)について①(動画視聴含)	訪れたい世界遺産				
科目名	世界遺産	時間数	34単位時間	3	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	佐渡金山(新潟県・県庁より派遣)				
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	世界遺産(国内)について②	前週テスト振り返り				
使用テキスト名	はじめて学ぶ世界遺産100/くわしく学ぶ世界遺産300			5	世界遺産(国内)について③(動画視聴含)	前週テスト振り返り				
補助教材	旅に出たくなる地図・パワーポイント スライド ・DVD			6	人類の誕生と古代文明①	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ				
科目概要と科目到達目標				7	人類の誕生と古代文明②	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ				
				8	アジア世界の形成と宗教①	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ				
<p>世界遺産の基礎知識と世界遺産の内容を理解を深め世界遺産検定の取得を目指す。</p> <p>地理検定や国家試験での必須項目でもあるため国内の世界遺産を中心に知識定着を図る。</p> <p>観光資源としての魅力度も高いため、深く探求することでツーリズムへの興味関心につなげる。</p> <p>【世界遺産検定】7月・9月・12月・3月(年4回の実施だが、当科としては7月と12月とする)</p> <p>7月に「4級」または「3級」:12月:「3級」または「2級」を目指す(次年度は「2級」「準1級」を目指す)</p> <p>授業の進め方・学習方法・課題</p> <p>ビデオやネット等の動画視聴も織り交ぜた授業構成とし、テキストだけでなく学ぶ楽しさと理解度を向上を図る。</p> <p>検定までの期間を中心に定期ミニテストを実施し、理解度チェックや弱点補強の対策の一助とする。</p> <p>併せて、考える力を身に付けさせるため、副教材も活用し想像力を問う課題及び提出物を実施する。</p>				9	アジア世界の形成と宗教②	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ				
				10	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代①	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ				
				11	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代②	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ				
				12	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動①	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ				
				13	特別講義)遺産登録を目指す自治体の実情を知る	新潟県佐渡や奄美沖縄の取り組みを学ぶ				
				14	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動②	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ				
				15	近代国家の成立と世界の近代化①②	近代国家遺産と現代社会の繋がりを知る				
				16	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック				
				17	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック				
				18	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	観光資源と地域への影響度を知る				
<p>①検定結果50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%</p> <p>前期は4級、後期は3級の取得状況で成績を算出する。</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				19	世界遺産登録と地域との関わりについて①	観光資源と地域との関係性を知る				
				20	世界遺産登録と地域との関わりについて②	観光資源と地域との関係性を知る				
				21	世界遺産登録と地域との関わりについて③	観光資源と地域との関係性を知る				
				22	世界遺産登録と地域との関わりについて④	観光資源と地域との関係性を知る				
				23	まとめ	全体履修内容を振り返る				
				24	検定対策	実力判定				
				25	検定対策	実力判定				
				26	検定対策	実力判定				
				27	世界遺産の魅力を知る①	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
				28	世界遺産の魅力を知る②	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
実務経験教員の経歴				29	世界遺産の魅力を知る③	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
				30	世界遺産の魅力を知る④	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
				31	世界遺産の魅力を知る⑤	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
				32	世界遺産の魅力を知る⑥	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
				33	世界遺産の魅力を知る⑦	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
				34	世界遺産の魅力を知る⑧	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
				旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 40年間				33	世界遺産の魅力を知る⑦	動画視聴等を活用して遺産を探求する
								34	世界遺産の魅力を知る⑧	動画視聴等を活用して遺産を探求する

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	アジア(韓国・中国)	海外地理知識の習得
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	若井 省三	2	アジア(韓国・中国)	海外地理知識の習得
科目名	海外観光資源	時間数	34単位時間	3	アジア(中国・東南アジア)	海外地理知識の習得
開講期間	通期	授業形態	対面授業	4	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得
使用テキスト名	JTB総研 海外観光資源			5	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得
補助教材	海外旅行地理サブノート(紙媒体)			6	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得
				7	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得
				8	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得
科目概要と科目到達目標				9	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得
海外の国々の観光資源について学ぶ 到達目標としては、次年度の総合旅行業務取扱管理者の資格取得に向けた対策授業であり、 1年次で海外の観光資源について知識を深めることを目的とする。				10	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得
				11	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得
				12	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得
				13	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得
				14	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得
テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。 定期的に豆テストと補講を実施。				16	ハワイ	海外地理知識の習得
				17	期末テスト	まとめテスト
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①検定(世界初級レベル)試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害 保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 40年間				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	イントロダクション	AIの基本概念と観光産業の現状
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	矢後	2	イントロダクション	AIが観光業界に与える影響と可能性
科 目 名	AIビジネス論	時間数	34単位時間	3	AIテクノロジーの基礎	機械学習とディープラーニングの基本
開講期間	通期	授業形態	対面	4	AIテクノロジーの基礎	画像認識の応用
使用テキスト名	AIの仕組み			5	観光データの収集と解析	観光関連データの収集方法と分析手法
補助教材	パワーポイントスライド			6	観光データの収集と解析	ビッグデータとAIを活用した観光データ
科目概要と科目到達目標 ・旅行業、ホテル業、観光業、交通産業のAIの最新トレンドと現在の課題について学習する。				7	顧客体験の最適化	AIを用いた顧客行動予測
				8	顧客体験の最適化	顧客満足度向上のためのAI
授業の進め方・学習方法・課題 観光産業(旅行業、ホテル業、観光業)全般についてのAIの役割と知識を身に着ける。成績評価は、授業への期末テストと参加意欲と提出物を中心とする。				9	AIの活用	AIアシスタントの導入事例
				10	AIの活用	AIのゲストサービスへの応用
				11	予測分析とマーケティング	AIによる需要予測と価格最適化
				12	予測分析とマーケティング	デジタルマーケティングとAIの連携
				13	AIを活用した観光地	観光地の運営管理におけるAIの役割
				14	AIを活用した観光地	持続可能な観光とAI技術の融合
評価方法・成績評価基準 ①授業への積極的参加40% ②提出物20% ③テスト 40% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	AIと持続可能な観光	AIを活用した効率の向上と環境
				16	AIと持続可能な観光	AIを活用した効率の向上と環境
				17	AIと持続可能な観光	AIを活用した効率の向上と環境
				18	観光デスティネーションの未来	イノベーションと観光体験の変化
				19	観光デスティネーションの未来	イノベーションと観光体験の変化
				20	観光デスティネーションの未来	イノベーションと観光体験の変化
実務経験教員の経歴 旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で教員実務を経て現在に至る。				21	観光デスティネーションの未来	イノベーションと観光体験の変化
				22	AIと観光産業の課題	倫理と規制の観点から見たAIと観光
				23	AIと観光産業の課題	倫理と規制の観点から見たAIと観光
				24	AIと観光産業の課題	倫理と規制の観点から見たAIと観光
				25	AIと観光産業の課題	倫理と規制の観点から見たAIと観光
				26	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
				27	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
				28	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
				29	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
				30	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
				31	AIと地域観光	地域コミュニティとの協業モデル
32	AIと地域観光	地域コミュニティとの協業モデル				
33	確認テスト	後期末				
34	総括	まとめと振り返り				

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション①	年間計画等について
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	2	宿泊業(国内)	ホテルのグレードや特徴について
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	島川 崇	3	宿泊業(海外)	ホテルのグレードや特徴について
科 目 名	観光キャリア論	時間数	17単位時間	4	観光の役割	経済への影響
開講期間	後期	授業形態	オンライン	5	世界の旅行観光トレンド	時事学からみた旅行観光の現在
使用テキスト名				6	旅行代理店	総合旅行業の役割と機能
補助教材	パワーポイントスライド			7	鉄道	輸送とそれ以外の特徴
				8	航空	既存キャリアとLCCの違い
科目概要と科目到達目標				9	バス	2024年問題
<ul style="list-style-type: none"> ・旅行業、ホテル業、観光業、交通産業の最新トレンドと現在の課題について学習する。 ・観光関連作業の社会での役割や責任について理解を深める。 ・観光分野でのキャリアプランを描くための基礎を学習する。 				10	船舶	クルーズの現在
				11	その他観光事業者	インパクトのある観光素材
				12	自治体関連	観光産業と自治体との連携
				13	グループワーク	上記題目に即したワーク
				14	グループワーク	上記題目に即したワーク
				15	グループワーク	上記題目に即したワーク
授業の進め方・学習方法・課題				16	グループワーク	上記題目に即したワーク
観光産業(旅行業、ホテル業、観光業)全般についての知識を身に着ける。成績評価は、授業への参加意欲と提出物を中心とする。				17	総括	まとめ
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①授業への積極的参加80% ②提出物20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				実務経験教員の経歴		
航空会社、シンクタンク、大学等の幅広い実務経験を有しており、現在は当校をはじめ他大学など複数の学校で教務にあたる。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	オリエンテーション①	年間計画等について
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	島川 崇	2	オリエンテーション②	授業の目指す目標(図解)
科 目 名	観光マーケティング	時間数	17単位時間	3	ライフサイクル	価格マネジメントについて理解する
開講期間	後期	授業形態	オンライン	4	航空郵送から見た価格設定①	価格マネジメントについて理解する
使用テキスト名	「観光マーケティング」(同友社)			5	企業戦略①	価格マネジメントについて理解する
補助教材	パワーポイントスライド・DVD			6	ビジネスモデルイノベーション①	企業事例研究
科目概要と科目到達目標				7	ビジネスモデルイノベーション②	企業事例研究
				8	ビジネスモデルイノベーション③	企業事例研究
理論と「旅行会社」「航空会社」「ホテル」「観光地」のそれぞれの現場でのビジネスでのケーススタディの事例をバランスよく業界のマーケティング理論&実践形式を学ぶ。				9	ビジネスモデルイノベーション④	企業事例研究
				10	オリエンテーション②	前期振り返りと後期に向けて
				11	指定範囲について	確認テスト
				12	海外旅行商材	流通チャネルのマネジメントを知る
				13	流通チャネルについて(実習予定)	流通チャネルのマネジメントを知る
				14	流通チャネルについて(実習予定)	流通チャネルのマネジメントを知る
授業の進め方・学習方法・課題				15	メディア戦略	流通チャネルのマネジメントを知る
テキストを中心に「観光マーケティング」の仕組みや考え方を学ぶ。 後期中、観光マーケティングオンライン授業の実施。				16	ホスピタリティーマネジメント	プロモーションマネジメントを理解する
				17	総括	まとめ
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験30% ②授業への積極的参加20% ③提出物40% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				実務経験教員の経歴		
航空会社、シンクタンク、大学等の幅広い実務経験を有しており、現在は当校をはじめ他大学など複数の学校で教務にあたる。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション①	年間計画等について
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	2	オリエンテーション②	目指すべき到達目標・旅行と観光の違い
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	島川 崇	3	業界研究①	旅行会社
科 目 名	業界研究	時間数	17単位時間	4	業界研究②	旅行会社
開講期間	後期	授業形態	オンライン	5	業界研究③	旅行会社
使用テキスト名				6	業界研究①	エアライン
補助教材	パワーポイントスライド・DVD			7	業界研究②	エアライン
				8	業界研究①	宿泊(ホテル・旅館)
科目概要と科目到達目標				9	業界研究②	宿泊(ホテル・旅館)
<p>①市場理解の向上: 観光業界の動向や潜在的な市場ニーズを把握することで、企業や関係者は市場における自社の位置をよりよく理解し、戦略的な意思決定を行うことを目指す。</p> <p>②競合分析: 競合他社の戦略や強み、弱みを把握することで、自社の競争力を評価し、競合優位性を獲得するための戦略を立てる。</p> <p>③新たなビジネス機会の発見: 観光業界の変化やトレンドを追跡することで、新たなビジネス機会を発見し、それに基づいて新規事業やサービスの開発を行います。</p> <p>④顧客満足度の向上: 消費者の嗜好や行動パターンを理解し、それに基づいてサービスや商品の改善を行うことで、顧客満足度を向上させることができます。</p>				10	業界研究①	バス・船舶(クルーズ)業界
				11	業界研究②	バス・船舶(クルーズ)業界
				12	業界研究③	バス・船舶(クルーズ)業界
				13	業界研究①	観光協会・自治体の役割
				14	業界研究②	観光協会・自治体の役割
				15	業界研究①	上記以外の観光産業
				16	業界研究②	上記以外の観光産業
授業の進め方・学習方法・課題				17	まとめ	
観光業界の全体像を把握し、企業や関係者が持続的な成長や競争力を確保するための情報収集と戦略策定を支援することを目指します。				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
<p>①定期試験0% ②授業への積極的参加50% ③提出物40% ④学習意欲10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				実務経験教員の経歴		
航空会社、シンクタンク、大学等の幅広い実務経験を有しており、現在は当校をはじめ他大学など複数の学校で教務にあたる。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	観光とは	観光の意味と語源
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	矢後 達夫	2	観光の歴史	高度成長期以降
科 目 名	観光時事学	時間数	34単位時間	3	観光の現状(日本)	市場規模
開講期間	通期	単位数	-	4	観光の現状(世界)	海外旅行の推移
使用テキスト名	観光概論(JTB出版)ほか			5	観光関連産業	サービス業ほか
補助教材				6	運輸機関	JR・関連事業
科目概要と科目到達目標				7	航空会社	航空運賃体系
				8	クルーズ①	クルーズ市場
観光の歴史と現状、未来を観光関連産業を紐づけて学ぶ。				9	クルーズ②	現在の新潟の寄港
				10	バスの歴史①	事業経営
				11	バスの歴史②	2024年問題について
				12	宿泊施設①	販売戦略
				13	宿泊施設②	空き家対策他
				14	旅行業①	総合旅行業
授業の進め方・学習方法・課題				15	旅行業②	BTM(業務出張)
教材を中心とするも、新聞や雑誌の時事テーマを引用して現在の観光関連業界を幅広く学ぶ。				16	旅行業③	ネット旅行業の現在
				17	テーマパーク①	TDL・スタジオパーク・ハリポタほか主要テーマ
				18	テーマパーク②	その他
				19	観光振興①	日本
				20	観光振興②	新潟
				21	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
評価方法・成績評価基準				22	ワーク②	個人・グループワーク(上記内容に連動)
①授業への積極的参加20% ③提出物40% ④学習意欲40% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	ワーク③	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				24	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				25	ワーク②	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				26	ワーク③	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				27	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				28	ワーク②	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				29	ワーク③	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				30	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				31	ワーク②	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				32	ワーク③	個人・グループワーク(上記内容に連動)
実務経験教員の経歴				33	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で教員実務を経て現在に至る。				34	まとめ	発表

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	鈴木晴奈	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
科目名	English Strategy TOEIC対策 I	時間数	136単位時間	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標 科目到達目標: ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け 9月のTOEIC公開テストで600点、11月のTOEIC公開テストで700点を旨す				7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				授業の進め方・学習方法・課題 問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施		
20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策				
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上				
23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上				
24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上				
25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上				
26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上				
27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上				
28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策				
29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上				
30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上				
31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上				
実務経験教員の経歴 貿易会社での翻訳業務経験7年 大手英会話教室講師経験あり				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上				
34	評価	まとめテスト				

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	準2級の重要名詞①	5月受験対策
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	皆川・寺田	2	準2級の重要名詞②	5月受験対策
科 目 名	English Strategy 英検対策 I	時間数	136単位時間	3	準2級の重要動詞①	5月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	準2級の重要動詞②	5月受験対策
使用テキスト名	2024年度版 英検準2級過去問題集			5	準2級の重要形容詞・副詞	5月受験対策
補助教材	スタディサプリ TEPPAN単語			6	準2級の重要前置詞・接続詞	5月受験対策
科目概要と科目到達目標 読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				7	準2級の重要熟語	5月受験対策
				8	準2級の重要会話表現	5月受験対策
				9	自動詞と他動詞	5月受験対策
				10	注意すべき時制	10月受験対策
				11	注意すべき受け身	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題 レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				12	助動詞①	10月受験対策
				13	助動詞②	10月受験対策
				14	評価テスト	評価
				15	仮定法	10月受験対策
				16	動名詞	10月受験対策
評価方法・成績評価基準 ①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				17	分詞構文	10月受験対策
				18	関係詞	10月受験対策
				19	比較	10月受験対策
				20	長文読解	10月受験対策
				21	英作文問題①	10月受験対策
実務経験教員の経歴				22	英作文問題②	1月受験対策
				23	英作文問題③	1月受験対策
				24	リスニング 会話表現①	1月受験対策
				25	リスニング 会話表現②	1月受験対策
				26	リスニング 説明文	1月受験対策
				27	リスニング問題のテクニック①	1月受験対策
				28	リスニング問題のテクニック②	1月受験対策
				29	総合テスト①	1月受験対策
				30	総合テスト②	1月受験対策
				31	総合テスト③	1月受験対策
				32	2次面接対策①	1月受験対策
				33	2次面接対策②	1月受験対策
				34	評価テスト	評価

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	Taking Phone Calls	Requests with can/ could, I'd like to
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	坂上啓貴	2	Giving information	Present Simple of be, Is there/ Are there?
科目名	観光英語	時間数	34時間	3	Taking room reservation	Do, Does Prepositions of time(on, at, in)
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	Taking Restaurant bookings	Dates Adverbs pf frequency
使用テキスト名	English for Tourism Professionals			5	Giving polite explanations	Present Simple (Be, Do, Can)
補助教材				6	Receiving guests	Possessive adjective(my, yours, his, her)
科目概要と科目到達目標				7	Serving in the bar	Requests and offers with can, could, shall?
				8	Instructions	take, dill, pour, sequence markers(first, next)
<p>科目概要: サービス業で使う英会話を学び、反復練習を通して実践的な英語スキルを身に付ける。</p> <p>後期では外国人講師とロールプレイを実施する。</p> <p>科目到達目標: サービス業で使う生きた英語表現を身につける。</p>				9	Taking a food order	a/an
				10	Dessert and Cheese	some, any
				11	Talking about wine	comparisons
				12	Dealing with requests	Offering help(I'll get you)
				13	Describing Dishes	Present Simple Passive
				14	Review	
授業の進め方・学習方法・課題				15	Assessment	
外資系のホテルで必須の英語表現を学び、実践的な練習を反復して行う。				16	Dealing With Complains	Past Simple
				17	Assessment	
対面授業と遠隔授業の併用実施						
評価方法・成績評価基準						
<p>出席30%、課題30%、テスト40%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	旅行プランニングとは	アイスブレイクと概要理解
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	澤野先生	2	2021年予測データからの分析①	分析力を磨く
科目名	プランニング基礎	時間数	34単位時間	3	2021年予測データからの分析②	分析力を磨く
開講期間	後期	授業形態	対面授業	4	各自分析した資料を基にグループディスカッション	提案力を磨く
使用テキスト名				5	各自分析した資料を基にグループディスカッション	提案力を磨く
補助教材	各旅行会社実販売旅行パンフレット			6	プランニング(マーケティング)	プランニングのやり方を学ぶ
科目概要と科目到達目標				7	プランニング(マーケティング)	プランニングのやり方を学ぶ
				8	プランニング応用(原価計算)	プランニングのやり方を学ぶ
旅行プランニングをつくり方を学ぶ事で、創造力、分析力を磨き、校内プランニングコンテストで優良なプランを発表する。				9	プラン作成①	プランニングのやり方を学ぶ
				10	プラン作成②	プランニングのやり方を学ぶ
				11	プレゼンテーション発表	プレゼンテーション技法を習得
				12	プレゼンテーション技法基礎	プレゼンテーション技法を習得
				13	本選プラン作成①	プランニングの実践
				14	本選プラン作成②	プランニングの実践
授業の進め方・学習方法・課題				15	本選プラン作成③	プランニングの実践
グループワークで分析力を磨き、プランニングの練習を行い、本選に出す作品を仕上げる。				16	本選プラン作成④	プランニングの実践
				17	プレゼンテーション演習	プレゼンテーション技法を習得
				18	本選向けリハーサル①	プレゼンテーション技法を習得
				19	本選向けリハーサル②	プレゼンテーション技法を習得
				20	本選向けリハーサル③	プレゼンテーション技法を習得
評価方法・成績評価基準				21	プランニングコンテスト本選	まとめ
①定期試験20% ②授業への積極的参加20% ③提出物50% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	プランニングコンテスト振り返り	優良事例の共有
				23	プランニングコンテスト受賞作品の分析	優良事例の共有
				24	プラン作成①	プランニングのやり方を学ぶ
				25	プラン作成②	プランニングのやり方を学ぶ
				26	プレゼンテーション発表	プレゼンテーション技法を習得
				27	プラン作成①	プランニングのやり方を学ぶ
				28	プラン作成②	プランニングのやり方を学ぶ
				29	プレゼンテーション発表	プレゼンテーション技法を習得
				30	プレゼンテーション発表	プレゼンテーション技法を習得
				31	プレゼンテーション実技テスト	プレゼンテーション技法を習得
				32	プレゼンテーション実技テスト	プレゼンテーション技法を習得
実務経験教員の経歴				33	プレゼンテーション実技テスト振り返り	プレゼンテーション技法を習得
				34	プレゼンテーション実技テスト振り返り	プレゼンテーション技法を習得
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	はじめに	マナーとは？
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	北村 裕美	2	身だしなみチェック	スーツの着こなし方
科目名	ビジネスマナー	時間数	17単位時間	3	基本動作 立ち方と挨拶①	立ち方の姿勢
開講期間	前期	授業形態	対面授業	4	基本動作 立ち方と挨拶②	歪んだ姿勢
使用テキスト名	ビジネスマナー			5	基本動作 お辞儀の仕方①	お辞儀の種類 それぞれの意味
補助教材	パワーポイント スライド			6	基本動作 お辞儀の仕方②	お辞儀の種類 それぞれの意味
				7	ビデオ撮影	
				8	ビデオ撮影⇒確認 チェック	
科目概要と科目到達目標				9	基本動作 入室の仕方①	入室の仕方
○科目概要:社会に必要なマナーと社会人としてのマナー知識を身に付ける				10	基本動作 入室の仕方②	着席の仕方
○科目到達目標:様々な業界に必要なマナーと所作を習得し、臨機応変に対応できるよう即戦力になるよう小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。				11	基本動作 入室の仕方③	一連の流れ
				12	ビデオ撮影	入退室の一連の流れビデオ撮影
				13	ビデオ撮影⇒確認 チェック	動作チェック
				14	歩き方	
授業の進め方・学習方法・課題				15	案内の仕方①	エレベーター
○実践的にロールプレイ形式の授業とする				16	案内の仕方②	階段
				17	案内の仕方③	その他
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
航空券の予約・発券・払戻・取消、受託手荷物等、カウンター業務、ゲート業務、出発・到着業務等、グランドスタッフとしての全ての業務にに係わる。また、教育インストラクター、接遇インストラクターとしても活躍。実務経験7年				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	就活の挑む上での考え方	希望する仕事・能力・社会のニーズについて
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	矢後 達夫	2	コミュニケーション検定に向けて(RART1)	コミュニケーションの力
科目名	就職実務 I	時間数	34時間	3	コミュニケーション検定に向けて(RART2)	聞く力①
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	コミュニケーション検定に向けて(RART3)	聞く力②
使用テキスト名	勝つための就職ガイド NEW SUCCESS(更新版)			5	コミュニケーション検定に向けて(RART4)	話す力①
補助教材	コミュニケーション検定(初級)			6	コミュニケーション検定に向けて(RART5)	話す力②
科目概要と科目到達目標 科目到達目標:就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う。 就活に必須のコミュニケーションやマナー全般に関する知識習得を目指す。				7	コミュニケーション検定に向けて(RART6)	来客対応
				8	コミュニケーション検定に向けて(RART7)	電話対応
授業の進め方・学習方法・課題 前半は7月実施のコミュニケーション検定に向けた学習をメインする。 後半は就活の基本～実践編及び時事問題など幅広く、適職に巡り合う術を学ぶ。				9	コミュニケーション検定に向けて(RART8)	アポイントメント
				10	コミュニケーション検定に向けて(RART9)	接客・営業・クレーム対応・会議・面接
評価方法・成績評価基準 学習意欲70%、課題提出30% コミュニケーション検定結果は、成績に加味しない。 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している F=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				11	習熟度確認テスト①	知識試験編・PART1
				12	習熟度確認テスト②	知識試験編・PART2
実務経験教員の経歴 旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で教員実務を経て現在に至る。				13	SUCCESS P6~16 就職活動の心構え	社会人と学生の違いを知る
				14	SUCCESS P17~21 自己分析・自己PR	自己分析・他己分析をふまえ自己PRを考える
【成績評価基準】				15	SUCCESS P24~25 自分史作成	自己PR分の基本構成作成
				16	SUCCESS P27~31 職業を知る	職業観を身に付ける
【成績評価基準】				17	SUCCESS P32~39 志望動機・情報収集	職種・企業・業界研究について学ぶ
				18	SUCCESS P40~P45 SNS・ハガキ	個人情報・資料請求・書類の書き方を学ぶ
【成績評価基準】				19	SUCCESS P46~48 求人票の見方①求人者②採用条件③勤務条件	求人票の見方とネットワークに関して理解する
				20	SUCCESS P49~53 エントリーシート・インターンシップ	インターンシップ・各シートの記入方
【成績評価基準】				21	SUCCESS P54~55 作成書類 ①履歴書の書き方①記入事項のポイント	履歴書作成に關しての注意点を学ぶ
				22	SUCCESS P56~P57 作成書類・履歴書作成個人作業	履歴書を書いてみる
【成績評価基準】				23	SUCCESS P58 応募書類の添え状について	添え状の書き方について学ぶ
				24	最新最強の一般常識 時事問題 政治 国際情勢	筆記試験対策
【成績評価基準】				25	最新最強のSPI SPIの基礎知識 SPI適正検査とは	筆記試験対策
				26	最新最強のSPI 非言語能力問題	筆記試験対策
【成績評価基準】				27	就活で押さえておきたい時事問題①	
				28	就活で押さえておきたい時事問題②	
【成績評価基準】				29	就活で押さえておきたい時事問題③	
				30	就活で押さえておきたい時事問題④	
【成績評価基準】				31	就活で押さえておきたい時事問題⑤	
				32	就活で押さえておきたい時事問題②	
【成績評価基準】				33	就活で押さえておきたい時事問題①	
				34	就活で押さえておきたい時事問題②	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	Introductions Pg. 4 -7	イントロダクション
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	ニール マクレーン	2	Asking for things (Flight) Pg. 8 - 9	話す力を身につける
科目名	Speaking	時間数	34時間	3	Answering questions Pg. 10 - 11	話す力を身につける
開講期間	後期	単位数	-	4	Talking about family Pg. 12 - 13	話す力を身につける
使用テキスト名	passport			5	Asking for things (Household) Pg. 14 - 15	話す力を身につける
補助教材				6	Ordering a Meal Pg. 16 - 17 (Part one)	話す力を身につける
				7	Ordering a Meal Pg. 16 - 17 (Part two)	話す力を身につける
				8	Destination UK! Pg. 18 - 19 (English Culture)	話す力を身につける
科目概要と科目到達目標				9	Asking directions Pg. 20 - 21	話す力を身につける
Develop comprehension & understanding in English conversation 観光業界で活用できる英会話能力を身に着けることを到達目標とする。 概要としては、日常生活及び観光の際に活用できる英会話を学ぶ。				10	Getting money at ATM/Bank Pg. 22 - 23	話す力を身につける
				11	Reserving Hotel Room Pg. 24 - 25	話す力を身につける
				12	Help for medical problems Pg. 26 - 27	話す力を身につける
				13	Asking about hometown Pg. 28 - 29	話す力を身につける
				14	Destination New Zealand! Pg. 30 -31	話す力を身につける
授業の進め方・学習方法・課題				15	Asking about tourist attractions Pg. 32 - 33	話す力を身につける
「話す」「書く」「読む」「聞く」の4技能を取り入れて授業を行うが、 特に「話す」と「聞く」のペア、グループワークを集中的に行う。 講師とは一方的にならないようコミュニケーションを図りながら進めていく				16	Talking about places Pg. 34 - 35	話す力を身につける
				17	Final Test	確認テスト
				18		
				19		
				20		
				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	坂上/北村/鈴木/宇都宮/中林/矢後	2	SDGsの基本知識について①	SDGsとは何かを理解する
科目名	国際理解 I・II	時間数	34単位時間	3	SDGsの基本知識について②	SDGsとは何かを理解する
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	SDGsの基本知識について③	SDGsとは何かを理解する
使用テキスト名				5	SDGsの基本知識について④	SDGsとは何かを理解する
補助教材	パワーポイント教材・PDF教材			6	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
				7	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
				8	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
科目概要と科目到達目標				9	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。 ゴール11「住み続けられるまちづくりを」他のSDGs関連項目を全校の共通課題テーマに設定し、 「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。 また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら 世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				10	地域の問題を解決するための行動とは①	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				11	地域の問題を解決するための行動とは②	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				12	地域の問題を解決するための行動とは③	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
				13	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
				14	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
前期では、SDGsについての理解を深め、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、 どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。 後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				16	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
				17	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
				18	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
				19	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
				20	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
評価方法・成績評価基準				21	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
①グループコミュニケーション30% ②提出物30% ③学習意欲40% ※ 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している F=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
				23	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
				24	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
				25	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
				26	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
				27	活動の振り返り⑥	改善点の提起
				28	1年間の活動報告をまとめる①	活動報告をまとめる
				29	1年間の活動報告をまとめる②	プレゼンテーションスキルを学ぶ
				30	1年間の活動報告をまとめる③	
				31	クラス内で活動報告を発表する	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必修	1	Chapter1 Wordの基本―(Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方)	基本操作の理解
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	今井真由美	2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
科 目 名	PC実習 I	時間数	68時間	3	Chapter2 文字入力と基本操作―(新規文書の作成・日本語入力システム)	文字入力について
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	文字入力と基本操作―(文字の入力と変換・単語の登録)	文字入力について
使用テキスト名	Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター			5	文字入力と基本操作―(文書の保存・文字の選択)	文字入力について
補助教材	Word /Excel文書処理技能認定試験 問題集			6	文字入力と基本操作―(文字列の編集・コピー・移動)	文字入力について
科目概要と科目到達目標				7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
				8	Chapter3 文書の編集―(学習する内容・ページ書式設定)	文章の編集について
Word処理技能検定3級取得 Excel表計算処理技能認定試験3級 取得				9	文書の編集―(文字の書式設定・文字幅と間隔の設定)	文章の編集について
				10	文書の編集―(文字の配置・字下げと行間の設定)	文章の編集について
				11	文書の編集―(禁則処理・罫線と網掛け)	文章の編集について
				12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
授業の進め方・学習方法・課題				13	Chapter4 文書の印刷―(学習する内容・改ページの挿入)	印刷について
				14	文書の印刷―(ヘッダー・フッターの設定)	印刷について
Word処理技能検定3級・Excel表計算処理技能認定試験3級 合格 3級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方 など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ 対面授業と遠隔授業の併用実施				15	文書の印刷―(印刷イメージの確認方法・印刷の実行)	印刷について
				16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について
				17	Chapter5 文書の作成―(学習する内容・入力オートフォーマット/あいさつ文)	文章フォーマットについて
				18	文書の作成―(学習する内容・入力オートフォーマット/段落番号・設定)	文章フォーマットについて
				19	文書の作成―(箇条書きの設定・タブ)	文章フォーマットについて
				20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて
評価方法・成績評価基準 ①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	文書の作成―(ビジネス文書の作成例)①	文章フォーマットについて
				22	文書の作成―(ビジネス文書の作成例)②	文章フォーマットについて
				23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて
				24	Chapter6 表を使った文書の作成―(学習する内容・表の作成)	表の作成について
				25	表を使った文書の作成―(表の選択方法・表の編集)	表の作成について
				26	表を使った文書の作成―(表の装飾・文字列から表を作成する)	表の作成について
				27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について
				28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成―(学習する内容・図形の作成)①	図形や画像作成について
				29	図形や画像を使った文書の作成―(図形の作成)②	図形や画像作成について
				30	図形や画像を使った文書の作成―(図形の編集・挿入)①	図形や画像作成について
31	図形や画像を使った文書の作成―(図形の編集・挿入)②	図形や画像作成について				
実務経験教員の経歴				32	図形や画像を使った文書の作成―(横書きテキスト ボックスの挿入・ワードアートの挿入)	図形や画像作成について
				33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について
				34	総合学習問題・テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	発音編	声調と単母音の習得
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	選択必修	2	発音編	子音の習得
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	富田	3	発音編	複母音と鼻母音の習得
科 目 名	第二外国語中国語 I	時間数	68単位時間	4	発音編	発音まとめ～ウォーミングアップ
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	第一課 文法説明	「AはBです」が言える
使用テキスト名	グッと入門中国語			6	第一課 入替練習	「AはBです」が言える
補助教材	中国語検定過去問題			7	第一課 本文	「AはBです」が言える
				8	第一課 練習問題と漢字ドリル	「AはBです」が言える
科目概要と科目到達目標				9	第二課 文法説明	モノを指して「これは～です」が言える
中国語検定試験準4級取得または準4級取得程度の文法と単語を習得する。 中国語で定型の挨拶や簡単な日常会話ができるようになる。 文字を見て正しい発音ができるようになる。				10	第二課 入替練習	モノを指して「これは～です」が言える
				11	第二課 本文	モノを指して「これは～です」が言える
				12	第二課 練習問題	モノを指して「これは～です」が言える
				13	第三課 文法説明	簡単な動作が言える
				14	第三課 入替練習	簡単な動作が言える
授業の進め方・学習方法・課題				15	第三課 本文	簡単な動作が言える
前期では正しい発音と文字の習得を目標とし、文字を見て発音できるように訓練する。 後期は主に講義を通じて、日常生活に必要な単語や表現を習得し、 意思疎通に最低限必要な文法を学ぶ。発話練習や適宜検定の過去問題にも取り組む。				16	第三課 練習問題と漢字ドリル	簡単な動作が言える
				17	前期試験	前期学習内容の定着
				18	第四課 文法説明	モノの状態が言える
				19	第四課 入替練習	モノの状態が言える
				20	第四課 本文	モノの状態が言える
評価方法・成績評価基準				21	第四課 練習問題と漢字ドリル	モノの状態が言える
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	第五課 文法説明	年齢や学年が言える
				23	第五課 入替練習	年齢や学年が言える
				24	第五課 本文	年齢や学年が言える
				25	第五課 練習問題と漢字ドリル	年齢や学年が言える
				26	第六課 文法説明	建物の場所が言える
				27	第六課 入替練習	建物の場所が言える
				28	第六課 本文	建物の場所が言える
				29	第六課 練習問題と漢字ドリル	建物の場所が言える
				30	第七課 文法説明	時間が言える
				31	第七課 入替練習	時間が言える
実務経験教員の経歴				32	第七課 本文	時間が言える
				33	第七課 練習問題と漢字ドリル	時間が言える
				34	後期試験	後期学習内容の定着

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	選択必修	1	韓国語について	文字、基本的な発音の習得
学 年	通訳ガイドコース 1年	担当教員	柳・宇都宮・中林	2	基本の母音	母音の特徴を学ぶ
科 目 名	第二外国語韓国語 I	時間数	68単位時間	3	基本の子音	子音の特徴を学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	合成母音	母音の種類について学ぶ
使用テキスト名	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版			5	パッチム	位置や場所を話すことができる
補助教材				6	文字の復習	文字についての総まとめ
科目概要と科目到達目標				7	基本的なフレーズと挨拶	挨拶の種類とフレーズを使う
				8	第1課 私は浅井ゆかりです	自己紹介ができる
科目到達目標:ハングル能力検定試験 5級取得または5級取得程度の文法と単語の習得 定型の挨拶や簡単な会話ができるようになる。 文字をみて正しい発音ができるようになる。				9	第2課 出身はソウルですか	出身地について学ぶ
				10	第3課 図書館ではありません	時間を話す
				11	第4課 時間がありますか	日にちを話す
				12	第5課 何をしますか	やりたいことを伝える
				13	第6課 貿易会社で働いています	仕事について話す
				14	第7課 服を買います	予定について話す
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期 復習①	テキストの復習
				16	前期 復習②	テキストの復習
前期では文字の習得を主な目標とし、文字を見て発音できるように グループワークなどを通じて行う。 後期は、日常生活に必要な単語を習得し、意思疎通に最低限必要な文法を 講義形式中心に行う。授業後半では必ず発話練習をペアワークで行う。				17	前期試験	
				18	第8課 スーパーでよく買います①	買い物に必要なことを話す
				19	第8課 スーパーでよく買います②	豆体が作れる
				20	第9課 1万ウォンです①	お金について学ぶ
				21	第9課 1万ウォンです②	お釣りについて学ぶ
				22	ハングル能力試験5級検定対策 ①	模擬問題を解く
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	ハングル能力試験5級検定対策 ②	模擬問題を解く
				24	ハングル能力試験5級検定対策 ③	模擬問題を解く
				25	ハングル能力試験5級検定対策 ④	模擬問題を解く
				26	第10課 今、何時ですか①	時間について話す
				27	第10課 今、何時ですか②	時間について話す
				28	第11課 日本語を話されますか①	第3者に紹介する
				29	第11課 日本語を話されますか②	よりフォーマルな場で自己紹介する
				30	第12課 バスは行きません①	乗り物について話す
				31	第12課 バスは行きません②	乗り物について話す
				実務経験教員の経歴		
33	後期 復習②	テキストの復習				
34	後期試験					